



学校だより『やまびこ』

諸塚小学校

No. 17 (R1. 9. 19)

校長 小川太志

運動会の練習に励んでいます！

10月6日(日)の運動会に向け、各学年ともいっしょうけんめい練習に取り組んでおり、子どもたちの動きにも日に日にまとまりを感じます。

練習では当然教師の指導や指示が必要ですが、運動会当日はできる限り教師の手を借りずに子どもたち自身の判断で競技や演技が進められるよう鍛えていきたいと思ひます。

また、運動会は競技だけでなく、応援や係の活動も大切な学習です。特に上学年はリーダーや係の仕事を通し、「応援や運営面でも役に立っている」という実感を味わわせることで自己肯定感や達成感を高めたいと思ひます。

先日行った結団式で運動会に臨む心構えとして「最後まであきらめないこと」「仲間と心と力を合わせ、運動会を成功させること」の二つのめあてについて話しました。



運動は得手・不得手が分かれがちな分野でもあります。運動会を楽しみにしている子もいれば、不安を抱えている子もいるでしょう。自己

肯定感を高めるには成功体験が大切だと言われますが、例え苦手な分野であっても最後まで力を出し切る姿にこそ価値がありますし、前に書いたとおり競技以外でも応援や係の仕事など活躍する場はたくさんあります。

ご家庭でも、お子様がどんなめあてを持って運動会に臨もうとしているのか話題にし、励ましの声を掛けてあげてください。

※ 明日開催予定の「ぎゃあな祭」のステージで一足早く運動会のダンスを披露します。出番は18時頃とのことです。どうぞお楽しみに！

勉強も運動も よい姿勢から！

4日(水)の学校参観日には、たくさんの保護者の方々に来校いただきました。ありがとうございました。

授業参観、学級懇談に続き、4校時に第2回学校保健委員会を家庭教育学級と兼ねて実施しました。



今回のテーマは「姿勢の大切さ」。1学期に実施した村内小中学校合同研修会で子どもたちの姿勢が話題になったことを受けて設定したテーマです。

諸塚診療所の理学療法士 伊東 芳政 先生を講師にお迎えし、子どもの成長と姿勢との関係について詳しく話をお聞きしました。

特に「姿勢がよくなる」と成績もよくなる「子どもは親(大人)の姿勢を真似て育つ」などのお話には参加者一同ドキッとさせられました。



学校でもさっそく正しい立腰指導や机・いすの調整をしていきます。家庭でも正しい姿勢を意識させること、ゲームの時間を減らし運動や外遊びに親しませることなど、よい姿勢の習慣化に向けてできることから取り組ませてみてください。

3・4年生がカヌーに挑戦！

先月29日(木)に3・4年生がカヌー体験に挑戦しました。場所は「しいたけの館」ホテル橋下の清流です(私も挑戦しましたが見事転覆！)

諸塚の自然のすばらしさを肌で感じた一日でした。インストラクターとして指導して下さったお父さん方、ありがとうございました！

